

Calendar grid showing dates from June 1 to July 31 with day names and event markers.

筑波実験植物園 「クレマチス展」 (5月1日(土)~6月6日(日))



上野本館 特別展「大哺乳類展-陸のなかまたち」(3月13日(土)~6月13日(日))

上野本館 企画展「日本の生物多様性とその保全-生き物たちのバランスの中に生きる-」(5月1日(土)~7月19日(月))



上野本館 特別展「大哺乳類展-海のなかまたち」(7月10日(土)~9月26日(日))

筑波実験植物園 「植物園フェスタ」(7月21日(水)~8月31日(火))

「科学自由研究フェスタ」 (7月24日(土)~25日(日))

上野本館

「2010夏休みサイエンススクエア」(7月27日(火)~8月22日(日))

6月と7月に行われる 展示やイベントについて お知らせします。



天文に興味がある方はこちらの講座はいかが?

夜の天体観望公開

- 1 上野本館: 夜の天体観望公開 (毎月第1、第3金曜に実施)
2 筑波: 夜の天体観望公開 (毎月第2土曜に実施)
3 上野: 夜の天体観望公開 (毎月第1、第3金曜に実施)
4 上野: 夜の天体観望公開 (毎月第1、第3金曜に実施)

夜の天体観望公開

- 5 筑波: 夜の天体観望公開 (毎月第2土曜に実施)
6 上野本館: 夜の天体観望公開 (毎月第1、第3金曜に実施)

自然についていろいろ聞いてみよう!

自然史セミナー

- 9 「コケ類入門講座: コケ類観察の基本テクニック」
14 「雨のゆくえ」
15 「帰化植物」
16 「鳥の羽の観察」

自然観察会

- 10 「山の植物(1)」
11 「植物園で夏のキノコを観察しよう!」
12 「大哺乳類展連携・スナメリを見に行こう」

天文学普及講演会

- 7 「天文ニュース解説・他」
8 「天文ニュース解説・他」

日曜観察会

- 13 「シイの林」

日曜観察会

- 14 「雨のゆくえ」
15 「帰化植物」
16 「鳥の羽の観察」

やさしい鳥学講座

- 17 「托卵で産まれた雛を見分ける鳥」

実験をしてみよう!

楽しい化学の実験室

- 18 「水蒸気の秘密と化学マジック」
19 「炭酸ガス(二酸化炭素)を化学しよう!」

日曜観察会

- 13 「シイの林」

自然の不思議物理教室

- 20 「科学マジックに挑戦してみよう」
21 「植物の光合成に学ぶ太陽電池のしくみ-自分で作って確かめてみよう!」
22 「光を使って離れた相手と通信してみよう」

中学生・高校生のためのサイエンスセミナー

- 23 「最先端高分子-未来の夢をかかなえる材料!」

中学生・高校生のためのサイエンスセミナー

- 24 「最先端高分子-未来の夢をかかなえる材料!」

化学実験講座

- 24 「キチンに担持した金化合物を使った実験」
25 「塗料 技術発展の歩み」

産業技術史講座

- 25 「塗料 技術発展の歩み」

植物に注目したい方はこちら!

植物のここが面白い

- 26 「植物と動物、せめぎあいの進化」

植物園とことんセミナー

- 27 「2010年度 樹木形態とフェノロジー」
28 「2010年度 樹木形態とフェノロジー」
29 里山の四季「花と虫のかかわり」(夏)
30 「2010年度 樹木形態とフェノロジー」

初心者のための植物学講座

- 31 「枯れ木は山のにぎわいのなか?」
32 「緑の侵入者達の盛衰(帰化植物の話)」

子ども自然教室

- 33 「クルクルトンボ・竹トンボ」
34 「夏の観察ポイント」

自然解説研修

- 34 「夏の観察ポイント」

研究者が伝える自然を見る眼(生態実習)

- 35 「身近な緑地の調査と解析」
36 「フィールドデータの統計解析」
37 「コケでないコケ “地衣類”の観察と調査研究」

往復ハガキによるイベントお申し込み方法

- 必須事項 1. 参加希望行事の日時及び名称
2. 参加者の氏名(ふりがな)
3. 住所
4. 電話番号 5. 年齢
6. 学年又は職業
7. 友の会会員の方は会員番号

電話 03-5814-9888 (平日8時30分~17時30分)
住所 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
国立科学博物館 学習企画・調整課 学習支援担当

※往復ハガキとWebによるお申し込みのイベントは、定員を超えるお申し込みがあった場合は、抽選とさせていただきます。

Webによるお申し込み

当館HP(ホームページ)内の各イベント申込フォームに必要事項を記入の上、お申し込みください。
URL http://www.kahaku.go.jp/learning/event/index.html

今回号の表紙: 生き物たちがたどった 多様な道のり-生命の花

(地球館1F「系統広場」)

今年は、国際生物多様性年です。現在の地球には、小さな細菌から、大きな哺乳類など、多種多様な生物がいま



すが、こうした様々な生物は、実は原始生命体がもとになり、進化が繰り返され、現在に至ると考えられています。この生物の進化をモチーフにした「生命の花」では、1回5分ほどの生物の進化をたどる幻想的な映像を見ることが出来ます。(上映開始時間は展示物前に表示)